



防犯グッズの贈呈式とキャンペーンの実施

当センターでは、6月9日の「ロックの日」にちなんでカギかけによる盗難被害防止と特殊詐欺被害防止を啓発するため、富山西警察署のマスコット「富山西ぞう君」のキーホルダーと特殊詐欺対策シールを制作して、富山西防犯協会に寄贈する贈呈式を行いました。贈呈式終了後、フューチャーシティファボーレに移動して、富山西防犯協会、富山県防犯協会、富山西警察署、当センターが合同で、買い物客に対してキーホルダー、特殊詐欺被害防止シール等を配布して、盗難被害防止と特殊詐欺被害防止を呼掛けました。



富山西警察署署長室での贈呈式



ファボーレでのキャンペーン

**富山西署が
チラシ配布**

富山西署は詔呂合わせで「ロックの日」の九日、富山市婦中町下書田の商業施設「フューチャーシティファボーレ」で鍵かけの啓発活動をした。

署員や富山西防犯協会員ら九人が買い物客らに「家もー車もー自転車も！「カギかけんまいけー！」と書かれたチラシや二七電話詐欺の危険性を訴えるシールを配った。

署によると、管内では五月末時点で自転車盗認知件数が二十二件（前年同月比二件増）でうち十七件（同三件増）が無施錠。昨年五月末時点では一件もなかった車上狙いも四件発生し、いずれも無施錠だった。

浦崎和晴生活安全課長は「鍵をかけていれば防げた可能性はある。鍵をかける習慣をもっともって根付か

ロックの日 鍵かけ啓発

「せいでいい」と述べた。啓発活動に先立ち、地域の安全活動に取り組むNPO法人安全企画センター（富山市）が、署のオリジナルマスコットキャラクター「富山西ぞう君」をデザインしたキーホルダー六百個と二七電話詐欺の注意を呼びかけるシール五百枚を同署で富山西防犯協会に寄贈した。このうち二百ずつをファボーレで配った。

水名健署長は「今後も官民一体の活動を推進し、安全で安心な富山西署管内を維持していきたい」と語った。

（鈴木沙太）



キャンペーンのスタッフ